

Hamamas



Nov/ 2010

Now mi stap long Kokopo. Long Kokopo,
I gat planti nature na gutpel a si na
nai spel a kal sa. O semna mi lai ki mtoki m
yupel a long Papua New Gui nea. O sem na
mi meki msampel a toksave long Hamamas.
Sapos yupel a i gat lai k long Papua New
Gui nea, bai ni Hamamas. Tenkyu tru.

こんにちは。11月に入り、私の活動も2カ月をきりました。今回はココポ・ラバウル地域で行われているマスクフェスティバルについて話していきたいと思います。

<マスクフェスティバルについて>

マスクフェスティバルは1995年に開催され、今年で15年目となりました。このフェスティバルはPNG内のいるさまざまな部族が集まり、それぞれのマスクをかぶり、ダンスパフォーマンスをしてくれるものです。毎年7月にココポ・ラバウル地域で行われています。

<キナバイ>

マスクフェスティバルの初日はキナバイという儀式で始まります。この儀式はトーライ族の精霊Tumbuanとトーライ族の男の人達が船に乗り、男達の歌声に合わせ、Tumbuanが踊りながら海から現れ上陸するものです。この儀式は早朝に海岸で行われます。朝の4時30頃には数百人の人達が見に来ていました。普段はこんな朝早く多くの人が集まる事がないため、とてもびっくりしました。



儀式を見に来た人達



トーライ族の男の人達が船を迎えて待っている所



Tumbuan が陸に上陸する所



上陸した Tumbuan



トーライ族の人達

<マスクフェスティバル会場>

会場にはいくつかのお店がありました。お店の建物はすべて手作りであり、トラディショナルな感じでした。またそれぞれのお店の造りも個性がありました。お店には食べ物や地域のおみやげなどが売っていました。



フェスティバル会場



手作りで造られたお店



<ダンス(シンシン)>

フェスティバルでは多くのダンス(シンシン)があり、それぞれの特有のパフォーマンスを行っていました。



様々な地域のマスク及びダンス

(おわりに)

今回はマスクフェスティバルについて書かせてもらいました。PNGには多くの部族があり、それぞれが特有の慣習をもっているなどフェスティバルを通じて思いました。またそれぞれのダンスの力強さ、部族のアイデンティティーを感じました。

(18/Nov/2010)

St.Mary's Hospital Vunapope Physiotherapist HIROTAKE YAMAMOTO JICA VOLUNTEER